

5月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
キャベツ類		17,775	102	17,269	52	154	83	-	-	神奈川、千葉、愛知産中心の入荷で全体の約9割を占める。今年は各産地とも入荷量減の単価高で推移してきたが、5月に入り入荷量が増加する見込み。価格は前年より高く、平年並みとなる見込み。
だいこん		9,642	95	9,432	64	172	83	-	-	千葉産が全体の8割を占め、主力となる。2月下旬から3月上旬の低温・曇雨天の影響で肥大が遅れている。青森産も遅れており、早くても5月末からの出荷となる見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年よりかなり高くなる見込み。
トマト		10,045	95	9,364	235	128	277	-	-	熊本、栃木、愛知産が主力となる。今年は、西南暖地、関東産とも低温、曇雨天と天候不順が続ぎ、小玉傾向で推移してきたが、5月には果実肥大が回復してくる見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は平年より高くなる見込み。
にんじん		8,730	95	8,199	138	98	152	-	-	徳島産が全体の7割を占める。今年は、低温の影響で肥大が悪く、4月中はMサイズ中心の出荷であったが、5月にはL～Mサイズに回復する見込み。関東産も遅れている状況。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年並みとなる見込み。
きゅうり		7,906	102	8,374	222	99	202	21	0.3	埼玉、群馬、茨城を中心とする関東産が主力となる。山形産も徐々に入荷が増えてくる。各産地とも天候不順の影響でこれまでは不安定な入荷状況であったが、生育は回復してきており、全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。
はくさい		5,860	97	5,977	32	172	55	-	-	茨城中心の入荷で全体の9割を占める。低温の影響で生育が遅れていたが、生育は回復してきており、5月の入荷量は前年並みとなる見込み。価格は、4月からの価格の影響を受け、前年をかなり上回り、平年並みとなる見込み。
ねぎ		3,803	98	4,059	314	111	330	-	-	千葉、茨城、埼玉産中心の入荷で全体の8割を占める。各産地とも夏ねぎの生育は遅れているものの、春ねぎや秋冬ねぎの切り上がり前年より遅れているため、全体の入荷量は前年並みとなる見込み。価格は前年をかなり上回り、平年並みとなる見込み。
ほうれんそう		1,344	100	1,572	379	100	400	-	-	群馬、埼玉、岩手産が中心となる。関東産は、低温により生育が遅れていたが、気温の上昇に伴って生育が回復してきている。後続の岩手は、播種期の低温の影響で、全般に生育が遅れている。全体の入荷量、価格とも前年並みの見込み。